

楠小学校区つながる会

安全・安心で助け合える地域の絆づくり

楠まちづくり新聞

設立に63団体が賛同

平成25年11月4日（月曜日）午後4時に、「まちづくり交」を設立し、協議会設立に向けた準備を進め、平成25年11月10日、松ヶ丘集会所で、設立総会」の参加者が中心となり、協議会が開催され、市内6つ、安全安心をテーマに、つどとなる地域まちづくり「地域まちづくり協議会」が、協議会「楠小学校区地域まちづくり協議会」の発足が図られ、校区内「楠小学校区」では、平成24年から検討を進めてきました。平成24年11月には準備会



設立総会（松ヶ丘集会所）



玉嶋会長

会長挨拶

「楠小学校区つながる会」は、楠小学校区内に暮らす住民の皆さんが広く参加し、みんなで考え、話し合っ、地域課題の解決に取り組む、住みよい地域を自分たちの力で築いていくことを目指しています。

まず、最優先に取り組むべきことは、近年多発している地震や風水害などの自然災害に備え、安全で安心して住める地域づくりです。南海トラフ地震や台風による風水害などの自然災害から命を守るため、地域内の様々な団体や住民の皆さんがひとつになら、自分たちで出来ることを話し合い、自主防災の安全安心につながる取り組みを進めてまいります。

役員



- 会長 玉嶋和美
- 副会長 楠本富美代
- 副会長 井上直登
- 副会長 森田久
- 副会長 吉谷宗久
- 副会長 西村道夫
- 会計 熊井元三
- 事務局長 井井華夫
- 会計監査 金田昌
- 会計監査 松本隆

運営委員

- 工藤兼弘、日長香代子
- 藤本精一、辻野伴美
- 高石正憲、中辻仁
- 大矢美園、東山知
- 林直子、東山正人
- 池上佐子

愛称募集

皆様から機関紙の愛称を募集致します。採用された方には粗品を差し上げます。応募方法は左記の事務局宛にてメールまたは電話で行います。

「愛称と住所、氏名、連絡先」をお知らせ下さい。募集は次回発行の機関紙上に行います。

事務局宛先
 〒4-1-1 Shiraikepal, p1a1a.or.jp
 締め切りは4月末

防災事業計画

安全・安心なまちづくり、災害に備え、安全かつ安心な地域を担う住民の顔が見えるまちづくり、子どもから高齢者まで、楽しく交流できる

参加！ 待ってます

楠小学校区つながる会では、より多くの住民の皆様へ、事業計画案のアイデアを募集いたします。ご参加いただき次年度の「相互」に出して対話し、事業計画案の検討、立案し、実施いたします。

「楠小学校区まちづくり地」の事業計画案のアイデアを募集いたします。ご参加いただき次年度の「相互」に出して対話し、事業計画案の検討、立案し、実施いたします。

アイデア大募集



講師の申込先 市民協働室 電話0721-53-1111

次回の開催は！

平成26年3月28日
 金曜日
 19時〜21時
 松ヶ丘中町 1621-145
 松ヶ丘集会所で
 開催されます

講師 まちづくりファシリテーター 服部正志さん



平成26年（現在）

防災への取り組み
楠小学校区つながる会は、昨年11月4日に設立され、「安全・安心で助け合える地域のづくり」に着手しています。
今回、最初の活動として防災研修会を平成26年2月27日（木）に奈良県五條市（大塔町）の土砂災害の現場視察を行いました。目的は、「バスで向かいましたが、五條インターチェンジを出てから少しすると、道路脇にまだ数メートル、道幅狭いので、災害発生時に避難が難しくなる」とのことでした。



平成23年（当時）

土砂災害の現場周辺であつたり災害に巻き込まれたりの差があるようでした。当時70名の避難者は、温泉施設や宿泊施設を避難所として住民で運営したそうです。
23年9月の台風12号が長く降り続いた雨により、山の斜面に深層崩壊が起こり、前面の住宅や集会所、消防の車両、学校のグラウンド等を飲み込み、10名の行方不明者が出た場所です。そこは現在も工事中で、昨年の台風で川の護岸部分が多量に崩壊されたとのことでした。



集合研修中

五條市の「ふれあい交流センター」で五條市役所の総務課 山田次長や、自治会長を務める災害時間指揮ととして住民を救った上田さんから、当時の状況や、直接災害を受けた方たちの切実な思いや、今後の対応方針、この経験をおぼろげに忘れないようにして今後に生かしたい等のお話を聞き大変勉強になりました。
住民の中で、この場所は安全と考えている人と、ここは危険であると考えている人の意識の違いが、助か

防災訓練 今年の予定

日程：11月2日（日）
時間：9時から
場所：赤峰市民広場



研修参加のみなさん

つたり災害に巻き込まれたりの差があるようでした。当時70名の避難者は、温泉施設や宿泊施設を避難所として住民で運営したそうです。
23年9月の台風12号が長く降り続いた雨により、山の斜面に深層崩壊が起こり、前面の住宅や集会所、消防の車両、学校のグラウンド等を飲み込み、10名の行方不明者が出た場所です。そこは現在も工事中で、昨年の台風で川の護岸部分が多量に崩壊されたとのことでした。



昨年（25年）の赤峰市民広場における訓練の様子

**桐ヶ丘中央自治会
活動報告**
桐ヶ丘中央自治会では昨年度（24年度）より地域の有志の方や自治会会長を始め防災役員の方々と自主防災組織の立ち上げに向けて再三会議を開き、やっとなご自治会内に「自主防災組織」を結成しました。25年度に入り防災総会にて定章を話し合いを重ね、防災規約作成や第1次避難所などの防災マップを作り全戸に配布しました。また自主防災の主旨や意義等の啓蒙資料を回収しました。

地域の活動報告
大規模や大規模災害から命を守るための「自主防災組織」が立ち上がっています。今年度は、研修の成果をつなぐ会の中で活動と討論しながら、これからの活動に生かしてゆきたいと思っております。皆様方のご支援とご協力をよろしくお願ひ致します。
大規模や大規模災害から命を守るための「自主防災組織」が立ち上がっています。今年度は、研修の成果をつなぐ会の中で活動と討論しながら、これからの活動に生かしてゆきたいと思っております。皆様方のご支援とご協力をよろしくお願ひ致します。

私のつながる会
その日、ちやうど3年前の春、私の日常生活が変わった瞬間です。
桐ヶ丘中央自治会が、2012年度の自治会の役員を決めます。以前にはお知りませんでした。役員を決める日時を忘れており、自宅のインターホンで呼び出され、慌てて集合所に行くと会議に出陣。お話しして、「会長」を引き当ててしまいました。これが私の自治会への積極的な参加の始まりでした。
河内長野市には、今から12年前に、結婚を機に引っ越してきました。引越してすぐに初めての自治会の役員が回ってきました。部長も役員も、子どもたちが0歳だったので、正直、会議に参加して、活動の内容を具体的に知ることもありません。年が過ぎていきました。
今回は、なんといっても「会長」です。妻、娘を立ち上げる準備が始まることではいけないと、妻、娘、活動が開始されたわけですが、自治会の役員も延長は、1年ごとに交代しています。これがきっかけとなり、自治会内で「自主防災組織」を立ち上げる準備が始まることではいけないと、妻、娘、活動が開始されたわけですが、自治会の役員も延長は、1年ごとに交代しています。これがきっかけとなり、自治会内で「自主防災組織」を立ち上げる準備が始まることではいけないと、妻、娘、活動が開始されたわけですが、自治会の役員も延長は、1年ごとに交代しています。

この危険性や自主防災の必要性を知ってしまいました。このように、他の役員や部長との協力や、市役所に相談する機会も増える中、感じていた時に、市役所が楠小学校区つながる会という防災を考える集まりがあることと聞き、とても興味を持ち、私も地域の防災に貢献したいと思い、中々も、つながる会の役員や運営委員の皆さんは、とても優しく、人生経験も豊富で、色々教えてくれました。私は、今、子育てで仕事もフルタイムで働く中で、毎日が時間との戦いです。けれど、絶対この活動は必要と考えています。妻、娘を守るためにも、桐ヶ丘中央自治会 広報部 池上

でも同じように考えている方がいることが分かっていました。今住んでいる地域は、大きな災害で立ち上る恐れも同じです。
私は、自治会での防災マップづくり、また楠小学校区つながる会の活動に関わることでも、とても多くのことを得たと思っています。
中々も、つながる会の役員や運営委員の皆さんは、とても優しく、人生経験も豊富で、色々教えてくれました。私は、今、子育てで仕事もフルタイムで働く中で、毎日が時間との戦いです。けれど、絶対この活動は必要と考えています。妻、娘を守るためにも、桐ヶ丘中央自治会 広報部 池上